

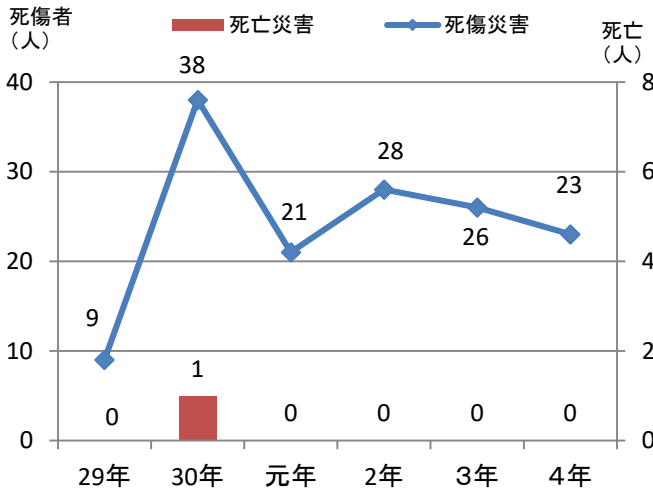
新聞販売業の労働災害発生状況

新聞販売業の労働災害（休業4日以上）の死傷災害「以下同じ」は、平成29年の9人から平成30年の38人と急増し、令和元年は21人と減少しましたが、令和2年は28人、令和3年は26人、令和4年は23件と前年比では、11.5%の減少となっています。（コロナ感染によるものはなし。）

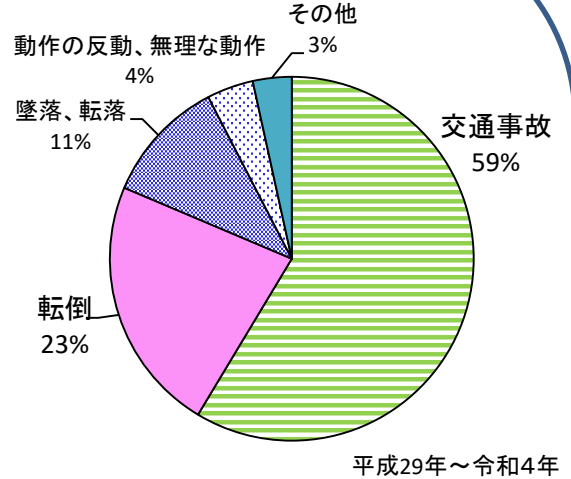


- ・労働災害の9割超が、配達中に発生しています。
- ・事故の型別は、59%が交通事故、23%が転倒災害で、この2種類で全体の8割を占めています。
- ・交通事故の80%がバイクでの配達中です。
- ・転倒災害は徒歩が61%、バイクが24%を占めています。
- ・月別では、寒い時期や雨の多い時期に多く発生しています。
- ・年齢別では、60歳代が40%、70歳以上が36%で、60歳以上は、7割超となっています。

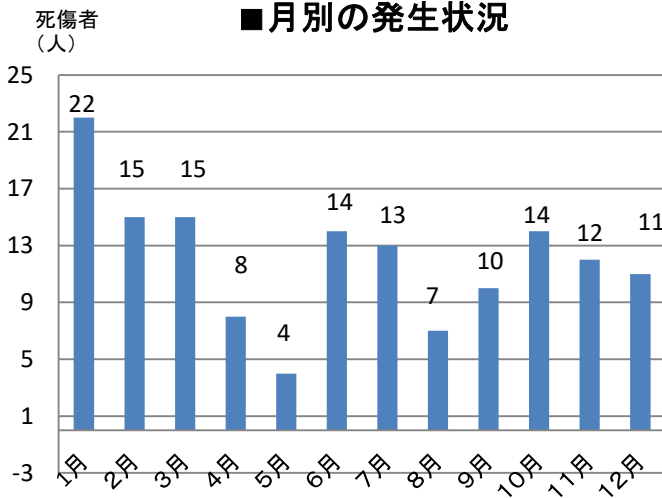
■労働災害の推移



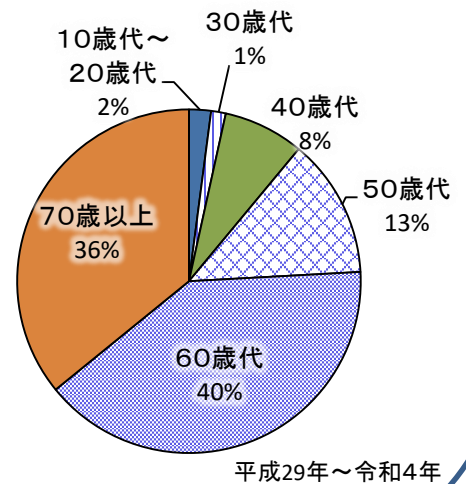
■事故の型別発生状況



■月別の発生状況



■年齢別発生状況



資料:労働者死傷病報告(休業4日以上)



【配達中の交通事故、転倒災害を防ぎましょう！】

1 バイク運転中、又は歩行中の交通労働災害を防ぐために

- ① 運転者は**スピードの出し過ぎ**に注意し、カーブでは十分に減速しましょう。
- ② 車両のタイヤは、**路面の状況に合ったもの**を使用しましょう（スタッドレスタイヤ等）。
- ③ 運転者は**車間距離を十分**にとりましょう。
- ④ 運転者は日の出前や薄暮の時間帯に限らず、日中でも**ライトを点灯**しましょう。
- ⑤ 運転者は朝刊配達時間帯など交通量が少ない場合でも、**一時停止等の交通ルール**を必ず守りましょう。
- ⑥ 運転時及び歩行中は**蛍光・反射シールの貼付、蛍光・反射ベスト**を着用するなど、他の者が認識しやすい目立つ服装を心がけましょう。
- ⑦ 配達経路を事前に点検して、危険な箇所を洗い出して**危険情報マップ（新聞配達ヒヤリマップ）**を作成し、危険を予測した運転、行動を行いましょう。

2 配達、集金中の転倒災害を防ぐために

- ① **滑り止めのある靴**を着用しましょう。また、靴は自分の足に合ったサイズのものを使いましょう。小さすぎる靴では足指が動かしく、バランスを崩したときに足の踏ん張りが効かなくなります。逆に大きすぎる靴では歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが足の動きに追従できなくなります。
- ② 時間に余裕のある配達計画を立てて、**慌てず、急ぐときほど落ち着いて**足元に注意して歩きましょう。また、**滑りやすい場所では小さな歩幅**で歩きましょう。

3 その他

高齢者の特性にも十分に配慮し、うっかり、ぼんやり、思い込み、ルール無視等の**不安全行動を排除**するため、定期的に安全教育を行いましょう。



災害事例

事故の型	性別	年齢	休業見込み	災害の概要
交通事故	女	76	2ヶ月	バイクで駐車場より片側1車線の反対車線に渡るとき、中央線より手前に停車していたところ、この車線を走行中の車両がバイク右後部に衝突した。
	女	63	1ヶ月	配達のため、雨の中を自転車で走行中に工事用の敷き鉄板の上で滑り転倒した。
	男	47	4ヶ月	バイクで配達中に住宅地内の緩やかなカーブの右側ガードレールに衝突し3m下に転落した。
転倒	男	64	10日	事務所に新聞を投函した後、玄関前の駐車禁止ロープを乗り越えて行く時、ロープに足を引っ掛け転倒した。
	女	66	2ヶ月	玄関ポストに投函するため、玄関先きのコンクリートに足をかけようとしたが踏み外し転倒した。
	男	72	1ヶ月	雨の中、徒歩で配達中にペンキが塗り替えられていた床面で足を滑らし転倒した。
転落	男	66	3ヶ月	配達のため車を停車し降りて配達先へ歩いたところ、溝に転落した。